

友史会2024年3月例会

「宇治市東部の遺跡を歩く」

- ・ 令和6年3月17日 午前10時 JR宇治駅南口集合
- ・ 案内 吉村和昭 企画学芸部学芸課課長
- ・ コース JR宇治駅→宇治市歴史資料館・隼上り3号墳石室(移築)(昼食)
→宇治神社→宇治上神社→二子山古墳→大鳳寺跡→隼上り2号墳石室(移築)
→隼上り瓦窯跡→岡本廃寺→瓦塚古墳→西方寺(二子塚古墳石室石材)
→二子塚古墳→京阪黄檗駅(解散)

【例会だより】

宇治は歴史が凝縮した町です。宇治断碑、「宇治十帖」、平等院・宇治上神社、宇治川の先陣争い、槇島城、山本宣治……。宇治の遺跡・古墳というと思い浮かばず、漠然たる思いです。

曇天ながら春の暖かさを感じるJR宇治駅に集合した一団がいます。晴れ男の吉村先生の笑いを誘う挨拶に和やかです。今日の天気予報は下り坂、一抹の不安を抱え一団は宇治市歴史資料館までの坂道を登ります。ここでこれから訪ねる古墳の副葬品の一部を実見することができます。仿製鏡四面・三環鈴・様々な玉類などです。特に碧玉製勾玉六つと瑠璃製切子玉二つを含む首輪は目を奪われる美しさで期待感が高まります。

宇治川に出て中之島に渡ると、観光客が目立ちます。さらに朝霧橋を渡り宇治川東岸に出て宇治神社と宇治上神社を訪ねます。宇治上神社の祭神は兔道稚郎子命(うじのわきのいらつこのみこと)と、その父応神天皇、その兄仁徳天皇だそうです。ここで先生から驚愕する話を聞きます。『日本書紀』には、兔道稚郎子命は宇治に住み、死後「菟道山上」に葬られたと記載があります。ところが、明治二十二(1889)年に、宇治川の東岸の「浮舟の杜」と呼ばれる円丘を兔道稚郎子命の墓に治定し、なんと周濠を持つ全長80mの前方後円墳に造形し宇治墓としたのです。この墓は京阪線宇治駅と三室戸駅の間に現存しています。宇治には近代になって作られた前方後円墳があるのです。という理由でここへは行きません。

宇治上神社からさわらびの道を通り北上しますが、雨脚は激しくなり傘の行列となります。二子山古墳の前まで来ると道は工事用のフェンスで閉ざされ、墳丘は樹木と下草で被われて判然としません。雨中で先生の話も熱が入ります。北墳と南墳の二つの円墳からなる古墳で、内部主体は未盗掘の部分もあり、多くの武器・武具・甲冑が発掘されています。装飾品も豊富で、先ほど実見した華

麗な首環も出土しています。古墳時代中期の宇治を支配した二代にわたる首長の墳墓です。国の史跡にも指定されていますが、何かの事情で古墳の整備・公園化が進んでいません。この墳丘上に立てば眼下に宇治の市街、宇治川を眺めることができます。早く宇治市民に親しまれる場所になって欲しいものです。

さらに北に傘の列は移動して大鳳寺跡に着きます。大鳳寺は白鳳寺院ですが、発掘調査区域の側には新築住宅の建設が進んでいます。

次に隼上り古墳群2号墳に到着。2号墳は横穴式石室の一部がバイパスの横の公園に移築されています。傘の列は隼上り瓦窯跡、岡本廃寺を巡ります。ここは発掘調査区域の一部が公園化され案内板も設置されています。このあたりから吉村先生の運気が雨を払い、参加者の歩調も快調です。次に水田の中にある円墳、瓦塚古墳に進みます。水田の中に浮かぶ島のような古墳ですが水田の周りには住宅が迫ってきています。

最後に訪ねたのが二子塚古墳です。六世紀初めの全長11.2mの前方後円墳です。後円部は土取りによって破壊され、その横穴石室の石材は、隣接するお寺の庭園の庭石として利用されています。古墳はその後発掘調査され、前方部と周濠は古墳公園として整備されています。さらに、この古墳は今城塚古墳の相似墓でその関係性が想起できるそうです。明治・大正時代に市街化された地域の古墳は土取りや市街地造成のために破壊された古墳や、応急的な調査だけで削平された古墳が全国に沢山あります。二子塚古墳はまだ幸運なのかもしれません。

宇治の古墳には現代に繋がる一つ一つの物語があることが分かります。遺跡に迫る新築住宅にも、若い夫婦の幸せがあると考えると心和むものを感じます。参加人数は百八人、なにやら煩惱多き集団だったようで雨に打たれましたが、吉村先生の運気のおかげで雨も上がり楽しい一日でした。吉村先生に感謝するとともに、次年度も例会をお願いします。宇治の歴史には古墳もあると思った次第です。

横浜市 中村尚司

【記録写真】

JR 宇治駅朝の挨拶



宇治市歴史資料館へ向かう坂道



宇治市歴史資料館



隼上り 3号墳石室



十三重石塔



宇治神社鳥居



宇治上神社



二子山古墳説明



隼上り 2号墳石室



隼上り瓦窯跡



岡本廃寺跡



岡本廃寺跡で吉村先生の説明



瓦塚古墳



瓦塚古墳前の吉村先生の説明



西方寺の庭



西方寺庭の二子塚古墳石材



二子塚古墳



以上